

事業者排出量削減報告書

住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	京都市西京区山田平尾町17番地								
氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）	社会福祉法人京都社会事業財団 会長 松原 義人								
事業者の主たる業種	社会福祉事業・医療業（病院）								
該当する事業者要件	<input checked="" type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第1号該当事業者（大規模エネルギー使用事業者（原油に換算して1,500キロリットル以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第2号又は第3号該当事業者（大規模運送事業者（トラック又はバス100台以上/タクシー150台以上/鉄道車両150両以上）） <input type="checkbox"/> 京都府地球温暖化対策条例施行規則第10条第4号該当事業者（その他の温室効果ガスの大規模排出事業者（二酸化炭素に換算して3,000トン以上））								
計画期間	平成20年 4月 ～ 平成23年 3月								
基本方針	各施設において、エネルギー消費効率の改善および職員の意識向上に努め、CO2の削減を目指す。								
推進体制	各施設長および担当課を中心に管理体制を整備し、CO2削減計画の策定と具体的な成果に向け取り組む。								
環境マネジメントシステム名称	適用範囲								
	取得年月日								
年度ごとの具体的な取組及び措置の状況	年度	設備、対象、工程等	措置内容						
	20～22		（つばさ園）冷暖房の節約。家電製品の買い替えによる節約。会議等資料紙の節約。 （京都厚生園）空調設備の定期点検および空調フィルターの清掃を徹底し、効率化を図る。業務用車両の使用を削減し、できる限り公共交通機関や自転車の使用に努める。梱包材料及び、ビン・ペットボトル等の納入業者の持ち帰りを推奨する。古紙のリサイクルに取り組む。 （京都桂川園）節電システム導入、空調の適正化、照明の適正化（部分消灯等）、エレベーターの適正使用（階段の利用）を実施し、排ガス規制および省エネ基準に適合した車両への買い替えに努めることで、2%削減する。 （北野保育園）設備等の使用適正化を積極的に推進して、エネルギー使用量の削減に努める。 （二条保育園）冷暖房の空調管理を徹底した。 （昭和保育園）電力消費量の管理を徹底する。 （京都桂川病院）運転時間、効率の見直し。省エネ変圧器に更新・照明器具のインバーター化。夜間運転制限・高輝度誘導灯に更新・冷却塔の清掃等小規模整理。 （西陣病院）コージェネレーションの廃熱利用の見直しを行う。照明・空調・ボイラーの保守点検や整備を定期的実施している。水道配管からの漏洩を定期的に点検している。						
温室効果ガスの排出量等	排出区分	基準年度（実績） （19）年度 （二酸化炭素換算）	目標年度（計画） （22）年度 （二酸化炭素換算）	増減率（計画）	報告年度（実績） （20）年度 （二酸化炭素換算）	増減率（実績）			
	A 事業所等排出区分	10,448.0 t	9,895.0 t	-5.3 %	10,139.4 t	-3.0 %			
	B 輸送車両排出区分	t	t	%	t	%			
	C その他排出区分	29.0 t	29.0 t	0.0 %	0.5 t	-98.1 %			
	排出合計	*1 10,477.0 t	*2 9,924.0 t	-5.3 %	*4 10,140.0 t	-3.2 %			
	実績に対する自己評価	（つばさ園）計画期間中に10%以上の削減を目指している中、4.7%の削減ができた。引き続き計画を進め、継続してゆきたい。 （京都厚生園）平成21年度に開設する新規事業に向けた、職員の増員を行った。また、ボイラー付配管の老朽化に伴う給湯管の破損によって漏水。排出量の増加につながったものと思われる。 （京都桂川園）デイサービス等における稼働率の低下に伴い、CO2排出量が削減された。 （北野保育園）設備等の使用適正化を積極的に推進してエネルギー使用量を削減し、1年間でCO2排出量を△2.5%削減できた。 （京都桂川病院）コージェネ設備の運転時間短縮、高効率運転に改善したことで大幅に削減できた。							
原単位当たりの温室効果ガス排出量等	用途区分	原単位の指標	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）		
	内訳書別紙に記載	二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
		二酸化炭素換算			%		%		
	実績に対する自己評価	（つばさ園）19年度12月より新規事業「つどいの広場」を開始したが、今のところ順調に削減しつつあり、継続してゆきたい。 （京都厚生園）基準年度に比べて減少はなかったが、目標の5%に達していない。今後2年間で目標達成できるように努めたい。 （京都桂川園）デイサービス等における稼働率の低下に伴い、CO2排出量が削減された。 （北野保育園）設備等の使用適正化を推進し、温室効果ガス排出量の削減に、尚一層努める。 （京都桂川病院）病院全体（用途区分なし）の増床により原単位に大幅な増減。							
その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等	対策等の区分	目標年度（計画）			報告年度（実績）				
		取組量等	（二酸化炭素換算）		取組量等	（二酸化炭素換算）			
	森林の保全及び整備	（整備面積）	ha	（吸収量）	t	（整備面積）	ha	（吸収量）	t
	府内産の木材の利用	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t	（利用量）	m <sup>3</sup>	（削減量）	t
	自然エネルギーを利用した電力又は熱の供給	（売電量）	kwh	（削減量）	t	（売電量）	kwh	（削減量）	t
	グリーン電力の購入	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t	（熱供給量）	GJ	（削減量）	t
	家庭における温室効果ガス排出量の削減効果分の購入	（購入量）	kwh	（削減量）	t	（購入量）	kwh	（削減量）	t
	削減量等合計	（購入量）	t	（削減量）	t	（購入量）	t	（削減量）	t
	差引排出量	基準年度（実績）	目標年度（計画）	増減率（計画）	報告年度（実績）	増減率（実績）			
	（排出合計-削減等合計）	*1 10,477.0 t	（*2-（*3）） 9,924.0 t	-5.3 %	（*4-（*5）） 10,140.0 t	-3.2 %			
地球温暖化対策に資する社会貢献活動	（松陽児童館）京都市内の児童館は、毎月16日を「エコの日」としてエコ活動に取り組んだり、エコについて考えたりしています。松陽児童館でも、日常的にペットボトルのキャップを集めたり、リサイクル工作等に取り組んでいます。								
特記事項	（京都厚生園）平成16年度に燃料をLPGから、環境負荷の少ない都市ガスへと全面的に切り替えた。 （西陣病院）平成20年度はコージェネレーションの廃熱利用を見直し、廃熱をあまり必要としない中間期などは、運転時間を減らすことでガス使用量を削減する。								

注1 該当する口には、レ印を記入してください。特定事業者以外の事業者の方はレ印の記入は不要です。

注2 「基準年度」とは計画期間の前年度を、「目標年度」とは計画期間の最終年度を、「報告年度」とは計画期間のうち、今回報告の対象となる年度をいいます。

注3 「事業所等排出区分」とは京都府内の事業所等の事業活動のためのエネルギーの使用に伴い発生する温室効果ガスを、「輸送車両排出区分」とは自動車運送事業者については使用の本拠の位置を京都府内とする車両の排出する温室効果ガスを、鉄道事業者については保有する貨物車両又は旅客車両の排出する温室効果ガスを、「その他排出区分」とは上記以外の京都府内における事業所等の事業活動に伴い発生する温室効果ガスをいいます。

注4 「原単位当たりの温室効果ガス排出量等」の「用途区分」には、〇〇工場、事務所などの用途を記入してください。「原単位の指標」には、分子の「二酸化炭素換算」の下に分母となる指標（生産数量、延べ床面積、走行距離等）を記入してください。

注5 「その他の地球温暖化対策による温室効果ガスの削減量等」のうち「森林の保全及び整備」の「目標年度（計画）」欄には計画期間中の目標の累計を、「報告年度（実績）」欄には実績の累計を記入してください。

注6 「特記事項」には、平成2年度（1990年度）を基準とした排出量の対比や、省エネ製品開発など他者の温室効果ガス排出削減への貢献、グリーン調達の実用、特定フロンなどの条例指定外の温室効果ガスの削減などを記入してください。